

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	25 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区松が谷4-4-3 [規模] 延床面積 4,671.32㎡のうち1,297.01㎡ SRC造一部RC造 地上8階地下2階のうち2階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等） ②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 23名 （内 訳）事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤5、非常勤6）、看護職員（常勤1、非常勤1）、運転手他（非常勤8） （前年増減）増減なし

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	12,042,200	12,035,300	12,063,000	25,863,000
	利用料金収入	86,428,000	94,616,996	88,889,000	77,278,017
	その他収入（人件費積立資産取崩収入等）	800	1,216,523	1,000	20,035,970
	計	98,471,000	107,868,819	100,953,000	123,176,987
支出	人件費	67,344,000	75,596,801	69,987,000	66,062,711
	光熱水費	3,257,000	2,997,483	3,216,000	2,857,677
	維持管理費（委託料・賃借料）	13,695,000	13,092,826	14,251,000	13,737,264
	修繕費	436,000	847,210	121,000	839,415
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（人件費積立資産支出等）	13,739,000	61,227,657	13,378,000	30,716,659
	計	98,471,000	153,761,977	100,953,000	114,213,726
収支			-45,893,158		8,963,261

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
開館日数	日	309	309	310	310
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率	%	90.4	90.7	92.8	72.9
利用者数	人	9,800	9,814	10,072	7,914

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
収支改善のため、人件費の見直し等を実施し、経費削減に取り組んだ。また、大型テレビを導入し、動画によるプログラムの実施等、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、サービスの充実に努めた。	

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
18 / 20 点	施設の運営にあたっては法令等を遵守し、区と情報共有も適宜なされている。また、町会と防災相互協力協定を結び、内容を確認するほか、毎月避難訓練を実施するなど、防災の意識も高い。文書管理に課題があるが、一般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
17 / 20 点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度と比較し利用率は低下した。人員配置基準以上の人員や、有資格者を配置するとともに、安全を確保した上で事業計画を実施するなど、概ね良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	職員の死角となる出入口を見直し、利用者の動線を1本化することで転倒リスクの軽減を図った。また、手すりやトイレ等の消毒やアクリル板の設置など、新型コロナウイルス感染防止対策に努めた。設備の定期点検を実施し、適切な施設維持管理を行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者満足度は、75%と前年と比較し16ポイント減少した。新型コロナウイルス感染防止のため、カラオケ等のプログラムやボランティアの受け入れを中止したが、大型テレビの導入による、活動プログラムの充実などサービス向上に取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	当初予算と比較し、修繕費の増が見られるが、人件費等の部分で削減されており、経費削減に努めている。その他支出の増についても、人件費積立によるものであり、全体的に適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	【所見】 新型コロナウイルス感染防止対策として、一部プログラムを中止したが、大型テレビの導入による新しいプログラムを実施するなどサービス向上に取り組んでいる。経費削減にも努めており、全体として良好な運営がなされている。
	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 文書管理の徹底と新型コロナウイルス感染症の影響により低下した利用率の更なる向上に向けて、今後も利用者確保に取り組むほか、満足度の高いサービスの提供をしていくことが必要である。